

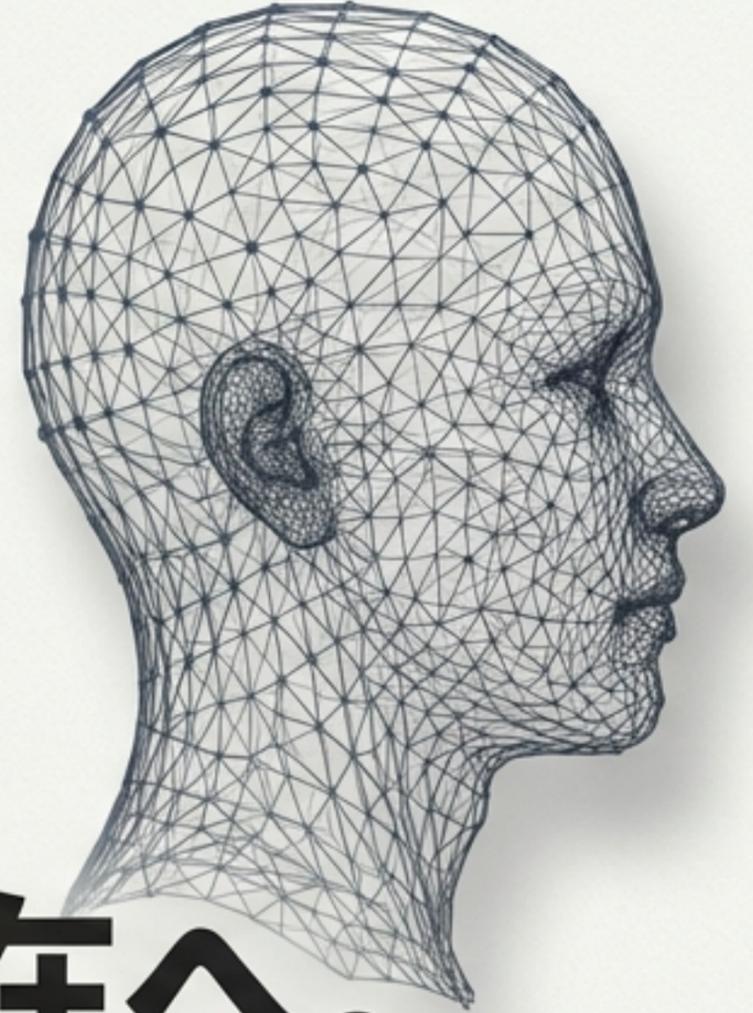
Space



Time



Existence



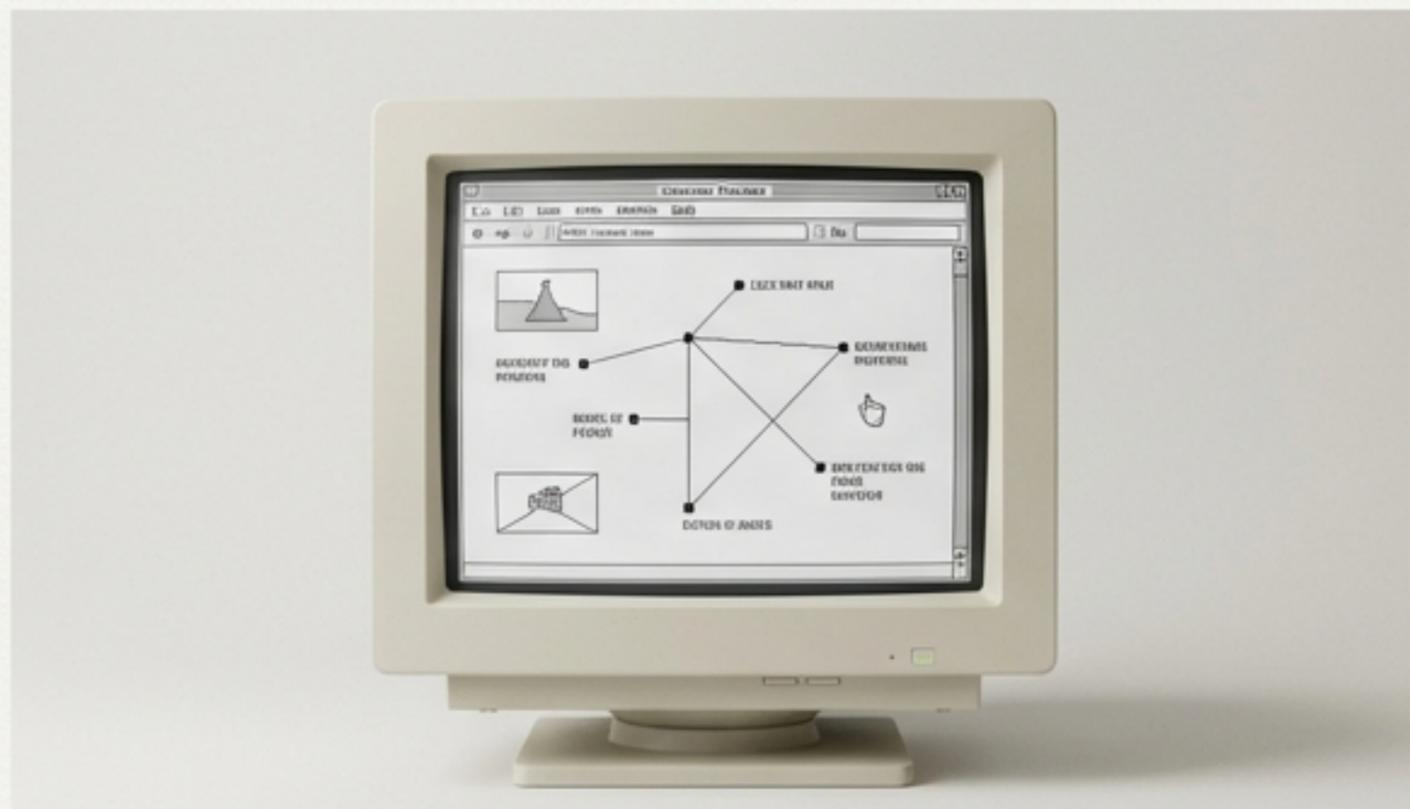
空間、時間、そして存在へ。

VRとデジタルアーカイブが描く「体験」の進化と未来

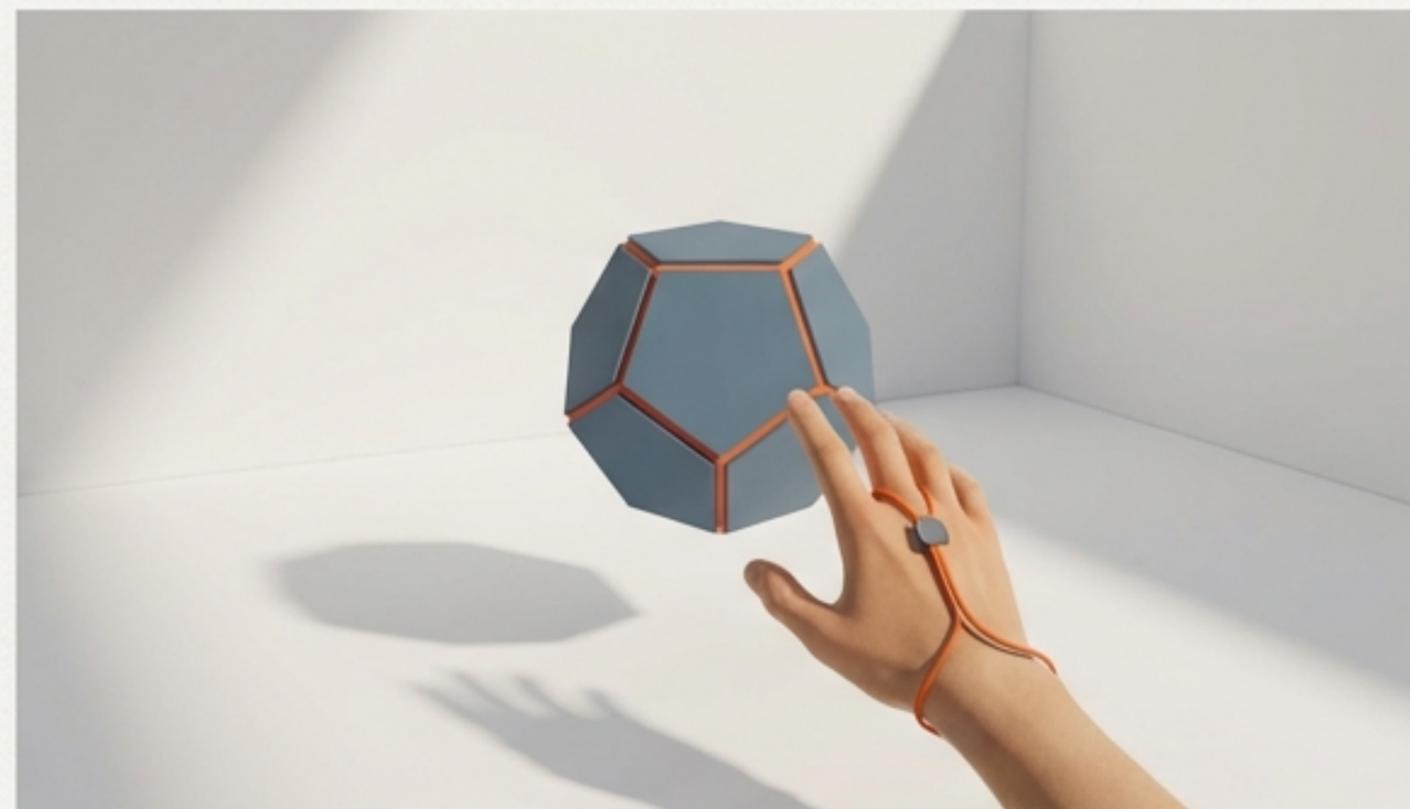
SECTION 1: SPACE

1. 空間の拡張：メタファーから「実体験」へ

Metaphor / Symbol (仮想旅行)



Substance / Bodily Experience (体験の合成)



1989年 VR誕生：記号から身体的体験へ

VRの誕生は1989年(平成元年)。その本質は、単なる仮想旅行(メタファー)ではなく、計算機が作り出した空間で「手を伸ばして物を掴む」「その場所に立つ」という身体的体験を合成することにある。

リアルとバーチャルの融合：MRとモバイル革命



Couch Potato / Stationary



Mobile / Info Overlay



Seamless Fusion

VR
(Virtual Reality)

AR
(Augmented Reality)

MR
(Mixed Reality)

2000s:
Mobile Revolution
(モバイル革命)
Helvetica Now Display
Noto Sans JP Regular

2. 時間の拡張：デフォルトで消える世界 vs 残る世界



デフォルトで
消える世界

「記録」の
コスト革命

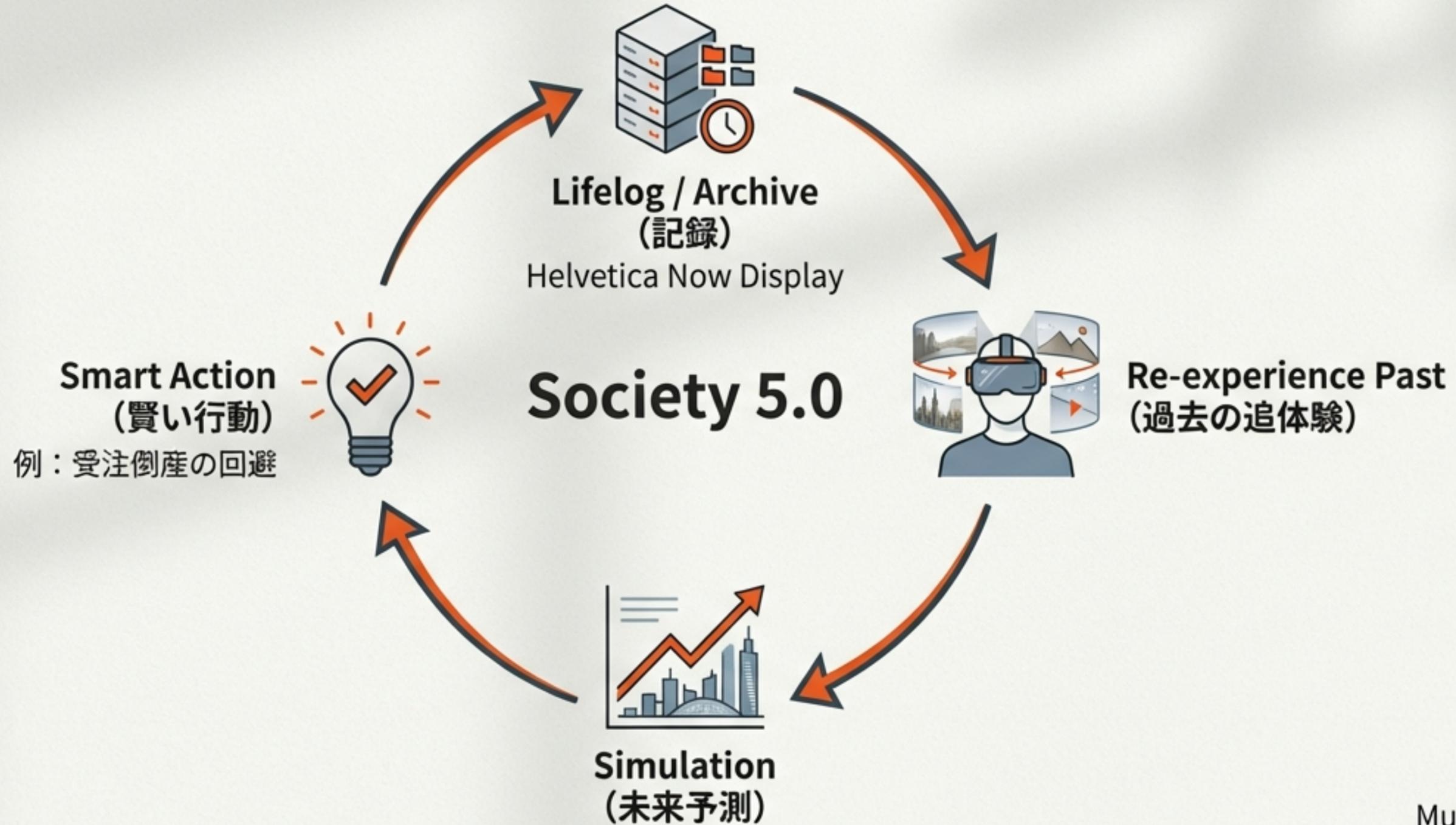


コンピューターの普及によりアーカイブのコストが激減。
個人の人生をすべて記録する「ライフログ」が現実のものとなった。

Society 5.0 : 過去の追体験が「未来」を作る

Noto Sans JP Black

Helvetica Now Display



Museum Board

デジタルミュージアムの挑戦：保存と展示のジレンマ

Mission:
Preservation
(保存)



Action:
Exhibition
(展示)

The Dilemma: Showing it destroys it.

博物館の第一の使命は「保存」ですが、展示して人に見せれば資料は劣化します。
デジタル化はこの矛盾を解消します。

デジタルが可能にする「文脈」と「動態」の復元

動態の保存 (Dynamic Preservation)



Noto Sans JP Regular
Helvetica Now Display
Preserving the "moving state" of
vehicles.

文脈の復元 (Context Restoration)



Noto Sans JP Regular
Cool Slate Blue
Restoring the environment and
usage context.

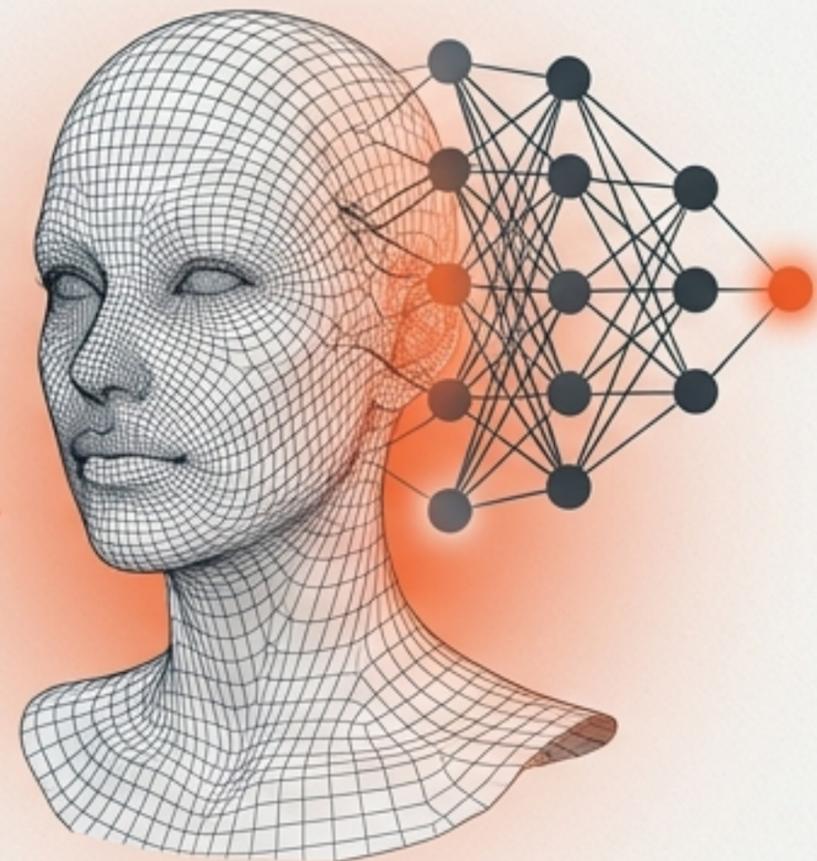
都市の博物館化 (City as Museum)



Noto Sans JP Regular
Helvetica Now Display
Overlaying VR footage on current
landscapes.

3. 存在の拡張：「物」から「人」のアーカイブへ

Fusion of Avatar & AI (アバターとAIの融合)



Phase 3: Humans (ヒト)

現在、アーカイブの対象は人間そのものへシフトしている。個人の外見（アバター）と思考（LLM）を組み合わせることで、故人や著名人をデジタル上に永続させる。

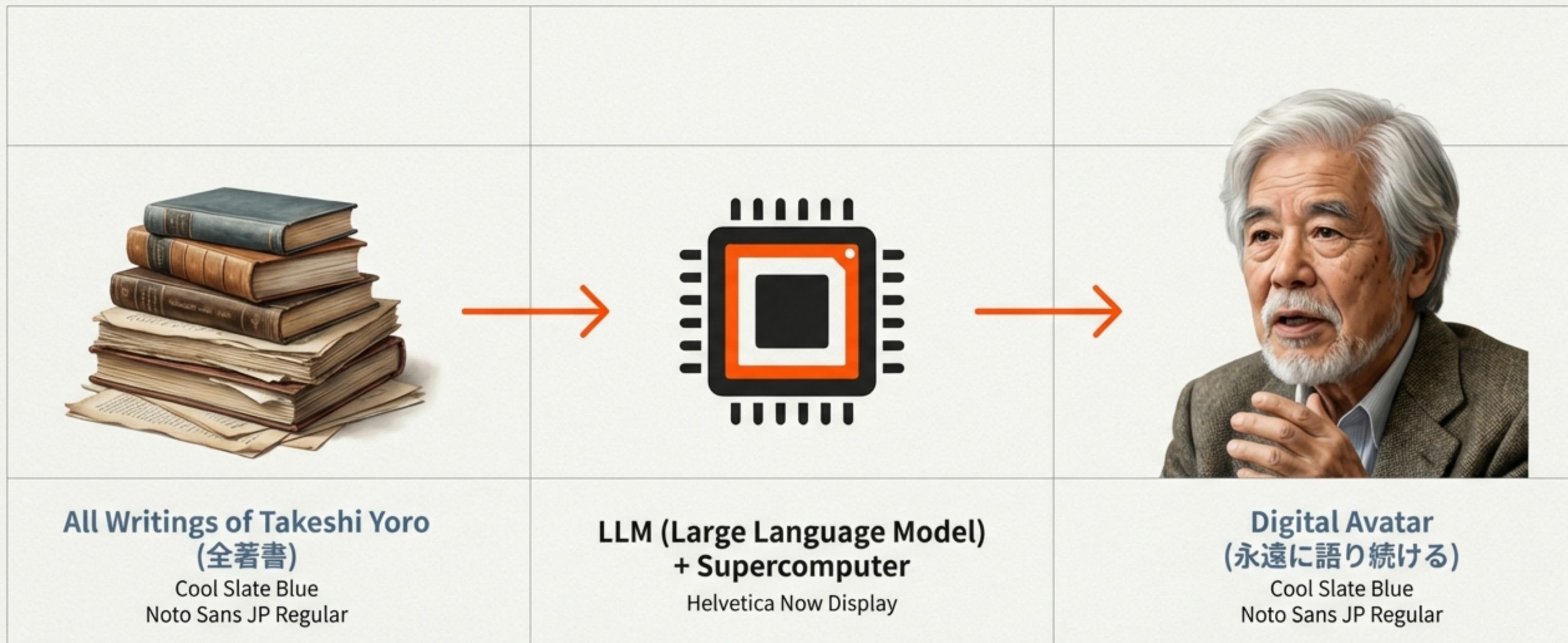


Phase 2: Things (モノ)



Phase 1: Documents (文書)

Case Study: 「AI養老先生」と永遠の対話



Inputting a lifetime of knowledge into AI to create an eternal dialogue partner.

Deep Charcoal, Noto Sans JP Regular

経済的インパクト：鉄鋼を超えたコンテンツ産業

Automotive Industry (自動車産業)

Digital Content Industry (デジタルコンテンツ産業)

5.8 Trillion Yen (約5.8兆円)

Steel Industry (鉄鋼産業)

↑ Surpassed Steel Industry (鉄鋼を超越)

日本の基幹産業は、重工業からデジタルコンテンツ（アニメ、ゲーム、バーチャルプロダクション）へと移行している。

結論：透明な情報基盤が繋ぐ過去・現在・未来



デジタルアーカイブは単なる保存技術ではない。社会、経済、そして「死生観」さえも変える。
デジタルコンテンツと知能の融合が、Society 5.0を加速させる。

過去の記録、現在の活動、未来の予測がシームレスに繋がり、透明な情報基盤が社会全体を支える未来。
デジタルとリアルの境界が溶け合い、新たな価値創造と持続可能な発展を実現する。